

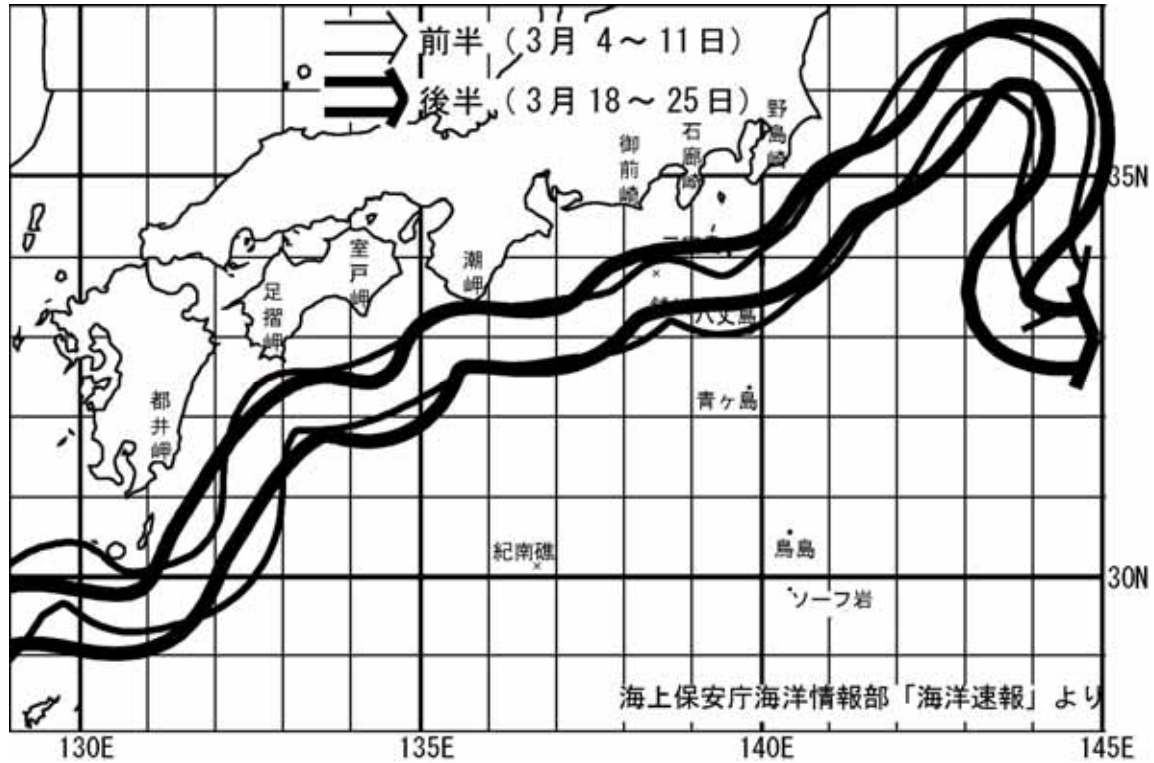
漁海況月報

平成25年 3月 1日

No. 3

~3月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.1	15.0	14.8	15.4	15.4	14.3	12.3
	0.6	1.0	1.1	1.0	1.2	0.9	0.5
中旬	14.9	15.0	15.0	15.5	15.4	14.5	13.5
	1.1	0.7	1.0	0.8	0.7	0.6	1.1
下旬	15.0	15.7	15.6	16.1	16.7	15.7	14.2
	0.9	1.2	1.3	0.9	1.4	1.4	1.0
月	14.7	15.2	15.1	15.7	15.9	14.9	13.4
	0.9	1.0	1.1	0.9	1.1	1.0	0.9

【黒潮流路】

前半の黒潮は、室戸岬で離岸し足摺岬、潮岬で接岸した。遠州灘沖の33.5°N付近を東進し、三宅島の南を通過した後に小蛇行し、房総半島沖に流れた。後半は、室戸岬で離岸傾向が強まった。潮岬で接岸した後熊野灘沖で小蛇行し、三宅島付近を通過した。中旬に遠州灘沖を小蛇行が東進し、相模湾・駿河湾に暖水が波及した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、黒潮が接岸傾向であったことや暖水波及の影響により、全域で月を通じてやや高めの水温で経過した。

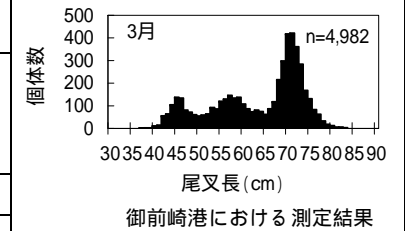
【竿釣カツオ】

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は267トンで前年同期の149%であった。魚価は319円/kgで、前年同期を下回った。

近海竿釣り船は、中南海域から小笠原諸島周辺で特大・特特大(尾叉長71cmモード)中・大(尾叉長57cmモード)主体に漁獲した。沿岸竿釣り船は下旬から静岡県沖の黒潮流域で操業し、小(尾叉長45cmモード)カツオを主体に漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量(近海、県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
25年3月上旬	124	5	24.8	236
中旬	47	2	23.5	342
下旬	96	13	7.4	415
25年3月計	267	20	13.4	319
24年3月計	179	18	9.9	549
23年3月計	294	32	9.2	431



【定量網】

平成25年3月、伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は345トンで、前年の同漁場の水揚量(465トン)の0.74倍となった。また、1か統あたりの水揚量は49.3トンで前年(66.4トン)の0.74倍、平年(昭和57~平成24年の平均44.6トン)の1.1倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとカタクチイワシ、ブリ、スルメイカの順に多かった。カタクチイワシは被鱗体長で13~16cmの大きさのものが北川、川奈、古網、赤沢漁場を中心に漁獲された。

漁場別の漁獲量では、北川漁場が101トン(カタクチイワシ、スルメイカ、ブリなど)、川奈漁場が66トン(カタクチイワシ、ブリ、マアジなど)、古網漁場が47トン(カタクチイワシ、ブリ、スルメイカなど)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
カタクチイワシ	186.4	1.7	2.4	北川、川奈、古網
ブリ	72.6	0.5	3.1	川奈、古網、伊豆山
スルメイカ	24.0	0.8	1.1	北川、川奈、古網
マアジ	13.8	1.4	0.2	川奈、富戸、伊豆山
サバ類	9.8	0.1	0.3	川奈、北川、富戸

[サバたもすくい棒受網]

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ287トン(前年同月比186%)、ゴマサバ325トン(前年同月比150%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量は、マサバ10.2トン/隻(前年同月比106%)、ゴマサバ11.6トン/隻(前年同月比85%)であった。平均単価は、マサバが93円/kgで前年同月(271円)を下回った。ゴマサバは74円/kgで前月(80円)を下回ったが、前年同月(54円)を上回った。たもすくいの漁場は、上旬は高瀬、下旬は三本に形成された。棒受網の漁場は、中旬及び下旬に、ゴマサバ主体で三本、三宅に形成された。

マサバは尾叉長34cmモードの3歳魚(2010年級群)主体、ゴマサバは24cmと29cmにモードの1歳魚(2012年級群)主体であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(ト)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(ト)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
25年3月上旬	146	44	4	10	14.6	4.4	108	76	高瀬
中旬	48	83	3	7	6.7	11.9	83	73	三本
下旬	93	198	4	11	8.4	18.0	75	75	三本
25年3月計	287	325	11	28	10.2	11.6	93	74	
24年3月	154	217	7	16	9.6	13.6	271	54	ひょうろ瀬 三本
23年3月	291	49	9	33	8.8	1.5	225	58	ひょうろ瀬 三本

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

平成25年春漁は3月17日に初漁となり、試験的な漁と漁場探索が行われた。春漁は例年より約2週間早く始まったが、天候が安定しないこともあり3月の出漁は2日間、水揚量は合計21.8トンであった。初漁日の漁獲量は4.3トン、平均体長は30.7mmと平成23年、平成24年の春漁の初漁日に比べ小さかった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	平均体長 (mm)	漁 場
平成25年3月17日(初漁日)	4.3	30.7	漁場探索
3月27日(2日目)	17.5	31.7	三保沖、大井川沖
平成24年4月3日(初漁日)	33.5	34.4	漁場探索
平成23年4月5日(初漁日)	20.3	36.0	漁場探索

[シラス船曳網]

3月21日が解禁日であったが、主要6港では22日に出漁、水揚げがあった。1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が121kg、遠州灘が295kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は210kgと前年同期(216kg)の97%、平年同期(過去5か年平均:258kg)の81%と前年同期とほぼ同じで平年同期は下回った。また、総水揚量は62.1トンで前年同期(67.7トン)の92%、平年同期(125.0トン)の50%と、前年同期、平年同期ともに下回った。平均単価は631円/kgと平年同期(716円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	1.8	2	9	198	527
舞 阪	9.6	2	36	267	561
福 田	19.3	3	65	297	400
御前崎	13.9	4	41	338	791
吉 田	2.4	3	65	37	1,257
静 岡	15.2	4	80	190	736
平成25年3月計	62.1	18	296	210	631
平成24年3月計	67.7	19	314	216	905
平成23年3月計	157.4	19	316	498	245

注) 各港の数値は四捨五入しているため、各港の値を合計した値と月計値は一致しない場合がある。

平年同期: 過去5か年(2008~2012年)平均

[まき網]

小川港ではマイワシが18.2トンの水揚げで平年同期(138.9トン)の13%であった。沼津港ではマイワシが93.4トンの水揚げで平年同期(101.4トン)の92%で、カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期も水揚げなし)。静浦港では、マイワシの水揚げはなかった(平年同期は0.3トン)、カタクチイワシの水揚げもなかった(平年同期0.5トン)、伊東港ではマイワシの水揚げはなかった(平年同期も水揚げなし)。

注) 平年同期: 過去5か年(2008~2012年)平均

[調査船の動向]

駿河丸	3月4日 ~ 3月6日	地先定線観測調査	(3日間)
	3月11日	ドック回航	(1日間)
	3月28日	ドック回航	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

